

歩道等の繁茂防止対策について

工事名 平成31・32年度糸魚川管内維持工事
 工事場所 糸魚川国道維持出張所管内
 会社名 (株) 笠原建設
 発表者 恩田 直也

1. はじめに

本工事は、一般国道8号の糸魚川国道維持出張所管内(糸魚川市徳合～富山県下新川郡朝日町境)における道路の維持修繕を行う工事である。

本論文については、歩道等の繁茂防止対策について現場で実施した内容を報告する。

2. 概要(現場状況)

本工事は、雑草による視界不良、歩行・移動時の障害、対策コストの増加、ゴミ捨て場化などの対策として国道沿い(写真-1)及び歩道内(写真-2)にある植栽帯撤去後に防草コンクリートの打設を行うものである。

過去の事例から防草コンクリート打設後、縁石や壁との打ち継ぎ目から雑草が生えて(図-1)しまうのが現状です。



写真-1 現況写真(三段滝)



写真-2 現況写真(市振)

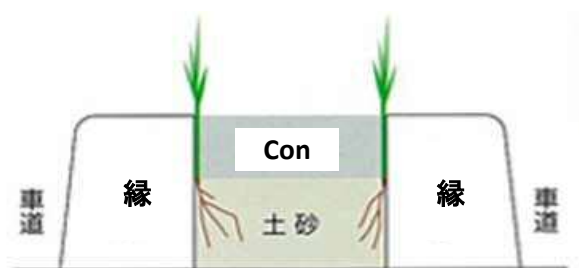


図-1 打ち継ぎ目から雑草

3. 方法

当現場では、防草効果を求める際にはブロックに切込を設けることができると標準設計にも記載されていることから、今回は簡単に施工できる100mmディスクグラインダにダイヤモンドホイール(V溝型)を装着し、縁石ブロック及び壁にコンクリート厚の中間に高さ15mm幅15mmの切込を入れ(図-2)施工した。

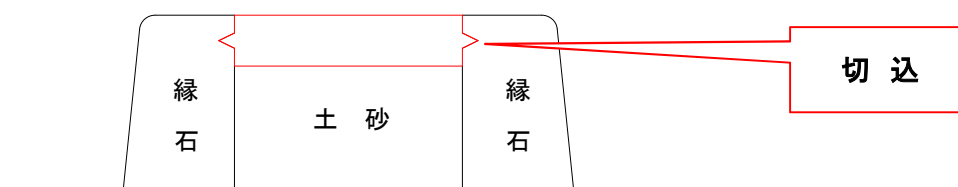


図-2 切込



写真-3 施工状況



写真-4 切込完了



写真-5 打設完了(三段滝)



写真-6 打設完了(市振)

4. 結果

今回のケースにはなるが、切込を入れた場所では雑草が生えておらず、効果があったと感じる。



写真-7 打設後5か月(市振)



写真-8 打設後 7か月(市振)

5. 考察及びまとめ

雑草は生きものであり、現場の状況や場所により違うと思うが、切込を入れなかった場所や目地部では雑草が生えてきた。今回は水平に切込を設けるだけでも効果があったと思われる。

また、植物は太陽に向かい上・横に成長するが下向きに伸びない性質をもっていることから、斜め下方に切込を施工できれば、より一層効果があるものとする。

ただ、費用の面では切込設置位置が限られており、10mの切込に1時間も掛かるため、費用が掛かってしまう。

あとがき

現在、効率的な維持管理(更新、撤去、維持管理費やコスト削減)が求められるなかで、維持修繕工事では、柔軟な対応と新技術等の情報収集により最適な工法や材料選択及び、効率的な施工が重要であり、今後も地域や利用に喜ばれる社会資本の整備に努めてまいります。

最後に、発注者の皆様方には貴重なご助言、ご指導を頂き感謝申し上げます。